

第7回 読売・民友杯福島県U-10サッカー大会 大会要項案

- 1 主 催 一般財団法人福島県サッカー協会
- 2 共 催 読売新聞東京本社・福島民友新聞社・福島県東部読売会・福島県西部読売会
- 3 主 管 一般財団法人福島県サッカー協会4種委員会、相双サッカー協会4種委員会
- 4 後 援 福島県、相馬市教育委員会
- 5 趣 旨 青少年・少女健全育成の一貫として小学校低学年（U-10）の主要な大会の設立をし、この大会を通じ友情を深め、フェアプレーの精神を養い、県内のサッカーレベル向上を目指す。
- 6 日 程 2023年9月16日（土）、17日（日）
- 7 会 場 相馬光陽サッカー場
- 8 参加資格
 - ・大会実施年度に一般財団法人福島県サッカー協会を通して公益財団法人日本サッカー協会（以下JFA）第4種に登録した団体（チーム）であること。登録した団体からの複数チームの出場も可とする。
 - ・上記チームに所属する2013年4月2日以降に生まれた選手であること。
- 9 参加料 10,000円を2023年9月8日（金）までに下記口座へ振り込むこと。
東邦銀行 大槻支店 普通 379919
一般財団法人 福島県サッカー協会 会長 菅野 貴夫
- 10 チーム構成
 - ・チームの編成は、引率指導者10名エントリーの中から2名以上5名以内選手16名以内とする。
 - ・引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。
 - ・参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - ・参加チームは傷害保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していること。
- 11 参加チーム数
 - ・地区大会を勝ち抜いた16チームによって実施する。
 - ・各地区毎の代表チーム枠数は、予備エントリーによる比例配分にて決定する。
- 12 大会形式 大会初日は1ブロック4チームによる4ブロックのリーグ戦
大会最終日は1位～8位決定戦（予選ブロック1・2位）
9位～16位決定戦（予選ブロック3・4位）を実施する。

- 13 審 判 2人制で行う。(主審と第4審が指名される)
上位トーナメント決勝戦・3位決定戦・準決勝2試合については本部派遣とする。
上位トーナメント決勝戦以外の試合については帯同審判員により行う。
- 14 組み合わせ 大会実行委員会で決定する。
- 15 表 彰 ①優 勝：優勝カップ、優勝トロフィー、表彰状、メダルを授与する。
②準優勝：準優勝トロフィー、表彰状、メダルを授与する。
③第3位：トロフィーと表彰状、及びメダルを授与する。
④個人賞として大会最優秀選手賞(読売賞)1名・大会ベスト GK 賞(民友賞)1名・
優秀選手賞7名に賞品を授与する。
- 16 競技者の数および交代
①1チーム8人の競技者によって行われ、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
②登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員
となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
③試合開始前の1チームの競技者の最少人数は6名とし、試合中いずれかのチームが6名
未満になった場合、試合は続けないものとし、当該チームを不戦敗とする。
- 17 競技規則 JFA 制定「8人制サッカールールと審判方」の「8人制サッカールール」による。
但し、以下の項目については大会規則を定める。
①試合時間は30分(15分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
<規定の試合時間内に勝敗が決しない場合>
予選リーグは引き分けとなる。リーグの順位決定は、勝ち点方式により決定する。
但し、勝ち点合計が同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・
抽選の順序により順位を決定する。
順位決定戦はPK方式により次回戦進出チームを決定する。但し1位決定戦は
5分ハーフの延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式により優勝チームを
決定する。
- | |
|--|
| 8人制サッカールールから抜粋
延長戦およびPK方式
①(略)
②PK方式において、両チーム3人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チーム
の得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで
交互に順序を変えることなくキックは続けられる。 |
|--|
- ②テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人
の引率指導者が伝えることができる。
③ベンチに入ることができる人数は、交代要員8名以内、引率指導者2名以上5名以内
とし、D級以上のライセンスを保持する指導者を1名以上ベンチ入りすること。

- ④各試合において各1人の主審と第4審が指名される。
- ⑤アディショナルタイム（ロスタイム）の表示については実施しない。
- ⑥暑熱下において、前・後半の中程で「cooling Break または 飲水タイム」を採用する。
「cooling Break または 飲水タイム」の有無を前・後半開始前に両チームに通告する。
- ⑦負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
- ⑧本大会に参加する選手は、JFAの発行した選手証を持参しなければならない。但し写真登録により顔の認識ができるものであること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
- *選手証とは、JFAWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。選手証等の提示は当該チーム試合日毎に求める。
- ⑨ピッチサイズは原則次の通りとする。縦68m・横50m・ペナルティエリア：12m
・ゴールエリア：4m・センターサークル：半径7m
・ペナルティマーク：8m・ペナルティアーク：半径7mの円弧
- ⑩ゴール：ゴールの内のり縦2.15m、横5m
- ⑪ユニフォームは参加申込書に記載した登録ユニフォームを着用すること。
ただし、ユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
またチームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
選手番号については1～99を使用し0は認めない。
- ⑫大会期間中、異なる試合において警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
- ⑬退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会
規律委員会で決定する。
- ⑭中断及び対応について：試合中、降雨・雷の際は大会本部の判断で中断する。
再開方法は中断から20分様子を見る。再開が難しい場合、前半終了前はスコアに関係なく再試合とする。前半終了後は、同点の場合はトスにて次回戦進出チームを決定し、得点に差がある場合はそこで勝敗を決する。
- ⑮ユニフォームの決定についてはコロナ過においては大会運営責任者で決定しSNSなどで通知する。
- ⑯ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑰アンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの色はチーム内で同色を利用の場合はその色を認める。

18 懲 罰

- (1) (一財) 福島県サッカー協会理事会の決定に基づき、中テレ・JA 共済カップ 第42回福島県U-12サッカー選手権大会に大会規律委員会を設置し、
(一財) 福島県サッカー協会規律・裁定委員会は(公財) 日本サッカー協会の懲罰規定第3条(以下、懲罰規定という)により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規定第25条に基づき当該大会規律委員会へ再委任する。

(2) 前項の再委任の範囲は、戒告、譴責及び1試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。

(3) 委員構成

委員長：(一財)福島県サッカー協会 大井川恵一規律・裁定委員会委員長

委員：今野博文、坂本和夫

19 宿泊手配 別途ご案内いたします。

20 開会式 実施しない。

21 閉会式 大会2日目の15:30より、上位3チームのみで行う。

22 監督会議 大会1日目の8:30より大会本部前にて行います。

23 参加申込 ①参加チームは一次ラウンドよりWEBエントリーに必要事項を入力の上申請すること
エントリー期日は各地区4種委員長に問い合わせをお願いいたします。

②県大会出場チーム集合写真については各地区4種委員長に2022年9月1日までに送信をお願いいたします。また、各地区4種委員長は佐藤4種委員長に9月5日までに提出をお願い致します。